

長崎県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点
問題構成	大問4題。文学的文章、古文、説明的文章、グラフや資料の読み取りの構成。 [一] は文学的文章32点。出典（『金色の羽でとべ』高田由紀子）。論述問題は2問、配点は12点。 [二] は古文18点。出典（『沙石集』）。論述問題は1問、配点は4点。 [三] は説明的文章32点。出典（『ものがわかんということ』養老孟子）。論述問題は2問、配点は12点。 [四] は資料と会話文の読み取り18点。話し合いの内容と、資料の内容を照らし合わせながら、解答することが求められる。論述問題は2問、配点は8点。		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量（A4で）	8ページ分	8ページ分	8ページ分	8ページ分	8ページ分
小問数	28問	31問	31問	31問	28問
論述問題の数	7問	6問	10問	8問	4問
論述問題配点	36点	30点	41点	35点	26点

【出題の傾向と対策】

- ① [一]文学的文章で比喩表現から、登場人物の心情を論述する。日頃から、比喩表現をそのままにせず、どのようなことを述べているかを確認する必要がある。

R6[一]

問三 ——線部②の比喩表現はどのようなことを表しているか。三十字以内で書け。

そして気づいてしまった。もう消えていたと思った②胸の奥の火が、かすかにくすぶっていることに。

★「胸の奥の火」とあることから、何かに対する情熱であることを読み取ること。また、「くすぶって」というのは、何かに対する思いが残っているという意味である。

- ② [二]本文の横にある現代語訳と、本文の後にある注釈は必ずチェックすること。動作や会話の主語を把握しながら読解することを日頃から心掛ける必要がある。

R6[二]

問四 ——線部③の主語として最も適当なものを次から一つ選び、その記号を書け。

ア 文王 イ 仁佐 ウ 伯父 エ 郭課

～「何の故」と③宣へば、～

★現代語訳に「おっしゃると」と尊敬語が使われていることに注目。主語は身分が高い人物だということがわかる。

- ③ [三]説明的文章・文学的文章の問題中に毎年、知識事項・文法問題が出題されるので、対策が必要。

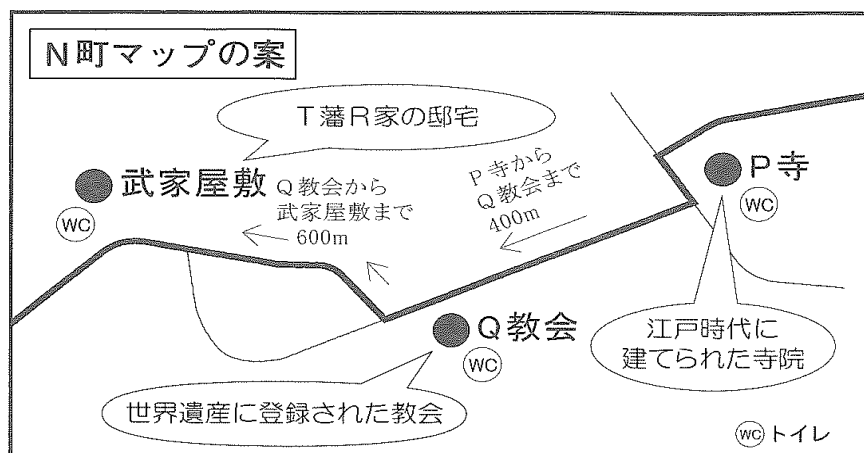
R6[三]

問二 ——線部①「呼ばれます」を単語に区切ったものとして適当なものを次から一つ選び、その記号を書け。

ア 呼ばれ/ます イ 呼ば/れ/ます ウ 呼ばれ/ま/す エ 呼/ばれ/ます

★まずは文節に分けること。自立語に接続している付属語を丁寧に確認すること。

④[四]話し合いの文章と資料から必要な情報を取捨選択することが必要。

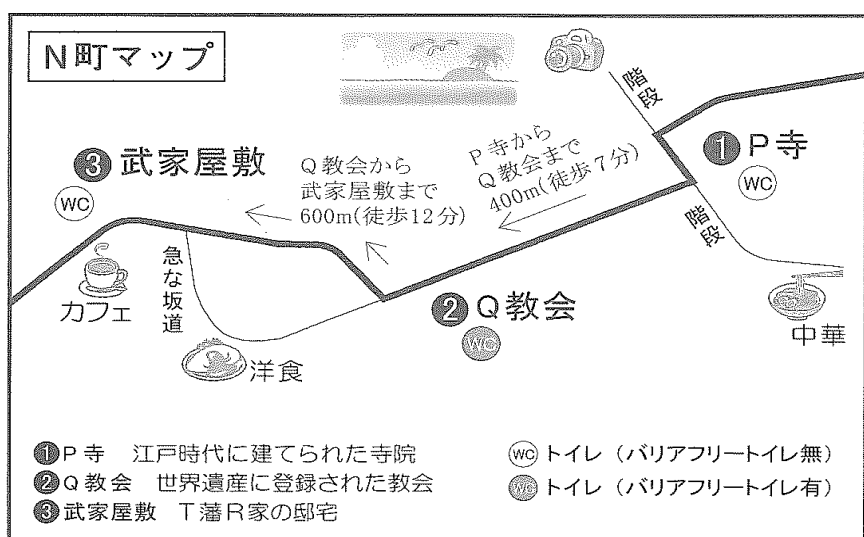


資料3

C そうだね。せっかく手作りのマップにするから、心を込めて景色のイラストを描こう。地元の飲食店もイラスト付きで載せようよ。

B 確かにイラストの方がいいね。名所・旧跡の紹介文は、地図の下の方にまとめて書いて整理しよう。また、マップ上の名所・旧跡に番号をつけて、紹介文もその番号と対応させて表示したらどうかな。

A その他に、
 [I] という工夫や、
 [II] という工夫もできるね。



資料4

問二 Aさんたちは、資料3に工夫を加えて資料4を作成した。【話し合い】及び資料3、資料4をもとに、
 [I] ・ [II] にあてはまる内容を、それぞれ二十字以内で書け。

★【話し合い】の内容を把握し、資料に照らし合わせながら考える。【話し合い】と資料3と資料4を見比べながら、まだ説明されていない工夫を読み取り、記述の内容を作成する。

解答

- | | | |
|-----|-----|---|
| R 6 | [一] | 問三 (例) 空良のバレーへの熱い思いが、果たされないまま残っていること。 |
| R 6 | [二] | 問四 ア |
| R 6 | [三] | 問二 イ |
| R 6 | [四] | 問二 I (例) 名所・旧跡の間の徒歩での移動時間を示す
II (例) バリアフリートイレの有無を記号で区別する |

※解答は県発表の標準解答に拠る